

# 大阪しんりんくみあい通信

2008.4 Vol.14

## 大阪しんりんくみあい通信が リニューアルしました

発刊から6年を経過したくみあい通信も体裁を一大リニューアル。記事は原則、横書きから縦書きに、表紙と裏表紙はカラー印刷とするなど、より読みやすく、またページ数は春季及び秋季号とも8ページとしました。

また記事の内容も事業を実施していただいた組合員の方の声を盛り込むなど、充実を図っていきたいと考えています。

ご覧いただく皆様からのご意見やご感想をいただき、今後とも、よりよい機関紙づくりに努めてまいります。

## Contents

大阪府内産木材の付加価値を高める……………	2
支店のトピックニュース……………	3
森林組合の事業……………	4
森林観光センターだより……………	6
“がんばっています”大阪府内産木材の住宅づくり ……	6
国における平成20年度林業関係予算について ……	7
NPO 森のプラットフォーム高槻 ……	7
木材市況……………	7
中谷前組合長が旭日小綬章を受章……………	7
巨木探訪／天王のアカガシ……………	8
日々活躍 組合職員紹介……………	8
公告……………	8



# 大阪府内産木材の付加価値を高める 大阪府内産木材認証に向けての取り組み

大阪府内産木材については住宅用建材として市場でも周知が図られ、併せて公共工事などでも使用することが仕様として記載されるなど、毎年、一定量を流通させてきました。

一方で一連の食品偽装問題に代表される産地の偽装が取りざたされるなど、生産履歴を明らかにして、安心・安全な製品を消費者に届けることが当たり前になりつつあります。

木材に関しても無関係の話ではなく、産地や規格を認証する動きが全国的に見られることも、その傾向の裏づけになるのではないのでしょうか。

森林組合では府内で生産される木材についても独自の産地の証明を行うべきと考え、コンピュータによる認証システムを国・大阪府・一般企業の支援により構築し

ました。

このシステムは伐採を予定する森林の毎木調査時などに、その森林に生育する樹木の場所・樹種など属性データをコンピュータに入力、伐採日もしくは搬出入日、製材日、製品としての出荷日をデータに加えることにより、生産から出荷までの履歴を証明するものです。

生産から出荷まではバーコードを木材に貼付し、それを読み取ることで製品管理が行えるシステムとなっております。

この認証木材と組合が展開する建築事業とを組み合わせ、より付加価値を高めた商品として差別化を図ることで、住宅受注につなげていけるものとして大きな期待を寄せています。

システムは平成20年4月から運用を開始、当面は組合で進めてい

る機械化林産現場での利用を想定しています。

そう遠くない将来、製材所や市場にバーコードのついた木材が並ぶ風景が、これから見られることでしょう。

なおシステム構築にあたり、大阪府をはじめ、井谷製材所様、岩本木材様、奥村機械様、中谷材木店様、(株)阪南ビジネスマシン様、日立建機(株)大阪北営業所及び大阪南営業所様、西日本キヤタピラー三菱建機販売(株)様、(株)松葉屋様、松葉善製材所様、森田製材所様、矢倉林業様、(株)山口木材住宅様、三菱ふそうトラック・バス(株)様、(有)南造園様、泉北北野木材(株)様、西浦建設(株)様、(有)八尾製材所様より、多大なご支援を賜りました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

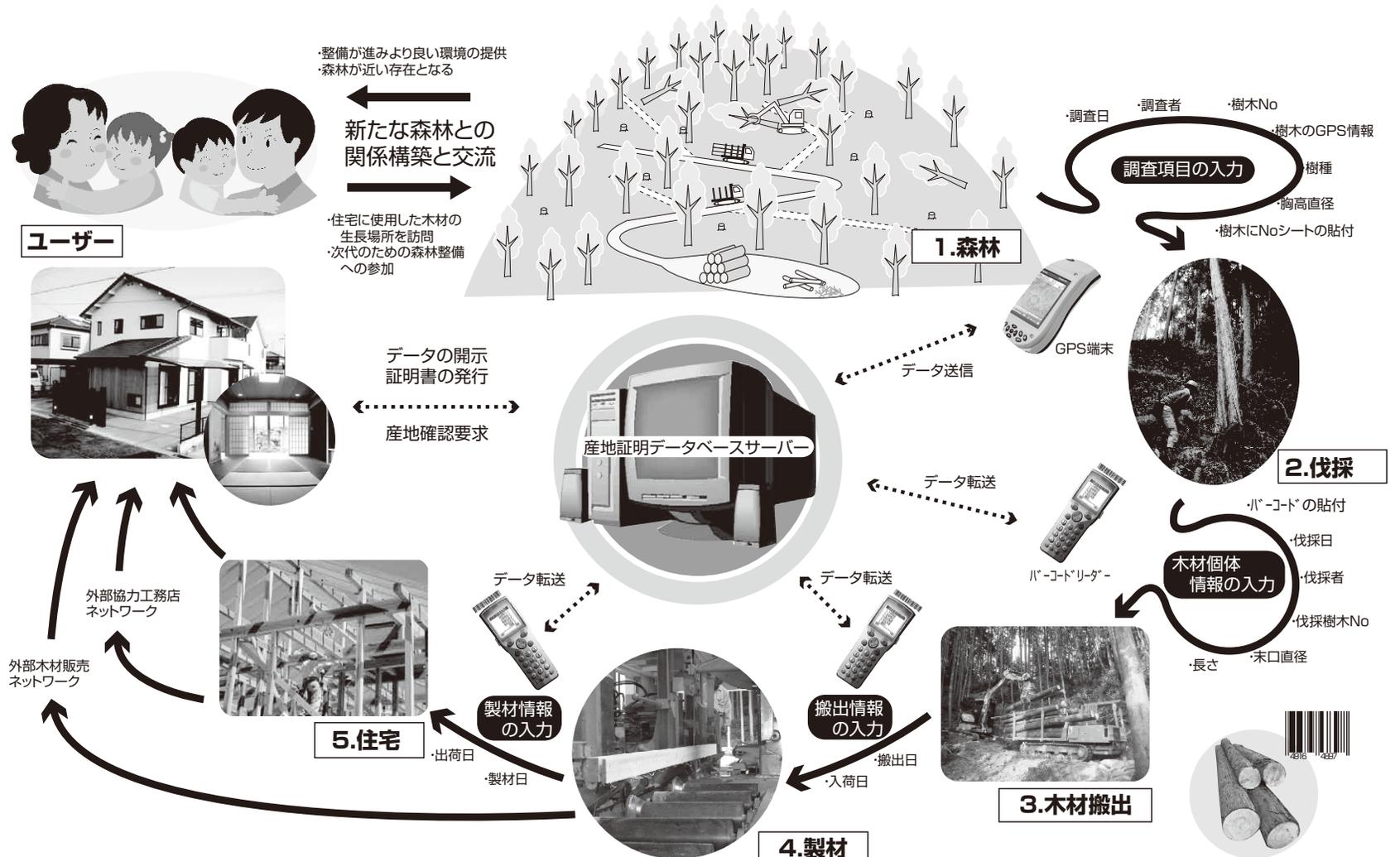


木材個体情報識別のためのバーコード貼付



GPS 端末による立木調査

## (仮)大阪府内産材トレーサビリティシステムの構築による商品・サービスの流れと波及効果



広葉樹林は、かつて薪や炭など燃料生産の場として活用され、資源の循環利用が日常的に行われていました。その中でも特に利用価値の高かったクヌギ林ですが、燃料が化石系の素材に変わっていくのに従い、活用されず、放置されているところが増えているのが現状です。

いったん放置されると、今でも需要のあるシイタケ原木や茶道用の「池田炭」にも、太くなりすぎて使えなかつたり、商品価値が大きく下がってしまいます。

しかし太くなりすぎたクヌギ林でも、下草刈り、つる切り、萌芽更新などを行えば、資源の循環を促すことは可能です。

現在、能勢町田尻地区や豊能町牧地区において、クヌギ林の再生に向けたモデル林づくりを地域の

ボランティアが連携して行っています。昨年は、能勢町立久々小学校・岐尼小学校、大阪教育大附属池田小学校が参加するなど、子ども達の森林体験学習の場としても利用されました。

組合としても、手入れが行われていないクヌギ林を対象に、今後の活用を検討するとともに、行政に対しても働きかけをしていきたいと考えています。

クヌギ林を所有されている方、ぜひ組合とともにクヌギ林の整備を進めませんか？



小学生による広葉樹の調査

## クヌギ林の再生に奮闘中

豊能支店

森林保全への貢献を考えている企業と、整備が必要な森林の所有者とを結び付け、森林整備を推進する大阪府の「アドプトフォレスト制度」は、導入以来すでに数社が活動を開始しています。

その中で昨年、新たに国内外の植林活動において実績を持つ財団法人イオン環境財団が名乗りを上げ、活動地として茨木市北部の見山地域にある長谷地区が選定されました。

当該地区は20世帯ほどの集落で、棚田とそれを取り巻く里山の景観が美しい場所ですが、里山の管理が行われず、その結果、竹林はやぶ化し、竹の雑木林への侵入が見られ、景観だけでなく地球温暖化防止や生物多様性の確保といった面でも悪化が懸念されます。

こうした状況を改善すべく、住民の皆さんはアドプトフォレスト制度による森林整備について合意形成されました。

活動内容は2haの竹林の広葉林化を計画。平成19年度は竹林伐採整備と植樹で、前者は森林組合が受託しました。植樹は平成19年9月29日、400人を超える参加者のもと行われ、サクラやドングリ類の苗木1,000本が一斉に植えられました。

今後は再生が予測される竹の整備を中心に行い、植栽木が順調に生育することを期待しています。

森林所有者自力での森林保全が困難な時代ですが、私たち森林を所有・管理する立場としても、このような「まち」との協働への取り組みに大きな期待を寄せています。

## アドプトフォレストによる森づくりー茨木市長谷地区

三島支店



企業による森林整備が進む

# Topics

## 支店のトピックニュース

泉州支店

### 間伐材魚礁広まる！

「曲がり・腐りとも関係なし。」

間伐材利用に有効な環境型の魚礁



組合では機械化林産を進め、搬出される間伐材の利用を促進しています。

その中でいわゆる小径木は丸棒加工の他、主に土木資材として活用されていますが、曲がりや傷、腐りがあると商品価値が下がるだけでなく素材として使用できないということもありません。

一方、魚礁として使うには、こういった欠点だけでなく、搬出前の枝払いが丁寧になされてなくても、使用には全く問題なく、有効な間伐材利用の手法として、利用していただいています。

森林組合の合併当初より、岬町の小島漁協さんが間伐材魚礁に取り組まれており、毎年20基を継続的に沈設していただいておりますが、昨秋オープンした岬町釣り公園でも利用されるなど、環境に

南河内支店

### 緑の担い手研修が修了

将来の若き担い手たち



平成19年度も南河内支店において緑の担い手研修を実施いたしました。

河内長野市有林を主な研修場所としてお借りし、西山君・西岡君・是枝君・榎原君4名の研修生に対して下刈・間伐等の森林整備から森林調査・測量や林業用機械の実地研修を行い、この3月で無事全員研修を修了しました。

4名とも、この研修を通じて知識や技能を蓄積でき、それを今後の作業に生かしたいという感想を抱いています。

個別の抱負としては「森林林業の効率化を目指すうえで高性能林業機械は必要であり、スキルアップのためにも資格取得を目指したい（西山君）」や「同期の担い手に負けないように、知識と技能を学んだ上で、将来は親方になり、

後進を育てたい（西岡君）」、「担い手の仲間と助け合いながら1年を終えることができた。これから毎日成長して、山の仕事を続けたい（是枝君）」、「森林・林業の素晴らしさとともに、先輩や同期の担い手など仲間の大切さを学ぶことができた1年だった（榎原君）」といった感想を耳にすることができ、仕事や人生の少しだけ先輩である我々も心強く感じるとともに、若いパワーに圧倒されたいよう、気を引き締めて指導に当たりたいと感じています。

いずれにせよ、このような若い力が育ち、将来の大阪の森林・林業の担い手として活躍してくれるものと期待しています。

配慮した間伐材魚礁が広まりはじめています。

そのような中、今年は従来の小島漁協さんはもちろん、谷川漁協さんでも沈設を計画されているとこのことで、魚礁用間伐材（末口10cm・長さ2m）約500本の注文を頂きました。（従来の小島漁協さんもほぼ同数で、合わせて千本程度）

木材は、アクションプラン推進室で団地化施設実施中の、河内長野市石見川地区より搬出した間伐材をお届けしております。

現在のところ、搬出費と販売価格が均衡しており、山元への還元は出来ておりませんが、今後は機械化を進めることで、少しでも間伐材代金を組合員さんへお届けできるように頑張りたいと思います。

# 森林組合の事業

大阪府森林組合も合併以来6年が経過し、おかげさまでもちまして現在まで健全経営を続けてきています。これからもこの状況を継続させ、持続可能な森林・林業の経営ため、また組合員サービスの向上に取り組んでいきたいと思っております。

そのためには組合経営基盤の安定を図り、経営を支える事業の確立が急務かつ不可欠であると考えられます。

現在、各支店で地域の特徴を生かした多様な事業を展開していますが、その中から5つの事業について紹介と将来展望を含めた説明をいたします。



この美しい森林環境を次代につなげるために

## 機械化林産事業

平成17年度より開始した機械化林産も3年を経過し、今年度も2班体制で、昨年度以上の生産量を確保するために作業を進めていきます。

機械化林産は、小型のバックホウとフォワーダを組み合わせ、山土場と作業路を開設しながら択伐による伐採と搬出を行うものです。

地域によっては搬出や作業路開設といった作業にも補助金がつくこともあり、搬出した木材の販売金額と合わせ、所有者負担なしでも事業を行うことが可能な場合もあります。仮に若干の費用が発生しても、次回の択伐時には開設した作業路が使用できますので、より安価もしくは利益を出すことも期待できます。

また単独の所有者だけでは費用負担や作業路の開設が困難な場合、複数の所有者に同意を得て施設対象林地を団地化して施設を推進する事業についても取り組んでおり、平成19年度は河内長野市石見川地区で団地化から伐採・搬出までを実施しました。

搬出した木材は山土場で選別を



作業路は将来への投資



伐採の様子

行い、木材需要に併せて製材や合板、土木資材として加工するために、それぞれの工場へ直送することを想定しており、余分なコストをカットして安定的な木材供給の実現を計画しています。

今後は北摂や泉州地域などにも事業地を拡大するための試験施設を実施していく予定です。

併せて、木材の産地証明を厳格化し、他府県産材との差別化を図る木材認証事業を導入し、単なる木材生産のみならず、木材の付加価値を高めた販売を行うことで、府内産木材の流通を活性化させていきたいと考えています。

今後は生産される木材を、どのような形で、どれくらいの量を市場に届けることができるのかシミュレーションし、市場ニーズの把握と商材の開発に注力する予定です。

## 森林リサイクル事業



木材チップの需要は高まる

森林リサイクル事業は、年々、取扱量が増加しており、組合を支える事業の一つとして成長しています。

平成14年に高槻市内に森林資源加工センターを開設以来、地域の間伐材と大阪北部の住宅地や道路開発による伐採材を受け入れ、木質チップに加工した後、発電用やペレット原料として生産と出荷を行ってきました。

平成17年には木材センター内に南河内樹木リサイクルセンターを開設、間伐材や主に大阪南部における広域農道開設による伐採材を受け入れ、木質チップの生産と出荷など森林資源のリサイクルに努めてきました。

ペレットについては高槻森林観光センターの温泉加熱ポイラーの燃料として、またペレットストーブの燃料として出荷し



大型木材破砕機

ており、石油関連製品価格高騰の追い風もあり、出荷量は年々、増加傾向を示しています。

木質チップについては、以前は遠隔地への輸送が必要でしたが、全国的にバイオマスを活用した熱利用及び発電施設が設置されるなど、近隣地域でも需要が発生しつつあることから、今後、木質チップ量の逼迫が起因する価格の上昇と輸送コストの低減による収益増も予想されます。

組合としても府内全域はもとより、一部、府外からも伐採材を受け入れるなど、木質チップ生産量を確保に努めています。

木質チップの利用方策について、現在の燃料用のチップとしてだけでなく、パーティクルボードやパルプ原料、バイオコークスやエタノールなど可能性は、まだまだ広がりをみせると考えられています。

今後は逆有価で処理している木材だけでなく、林地残材やパークなど林業における副産物を含め、安定的かつ付加価値を付けた加工及び販売を進めるのが課題となっております。

## 森林整備事業

森林組合では、合併以前より大阪府内における健全な森林の育成に努めてまいりました。今後も、その姿勢は変えることなく、府内の森林を次代につなげるための事業は森林組合の根幹事業であるとの認識のもと、より一層、力を注いでまいります。

国においては、主に地球温暖化防止対策の事業として、造林関連補助金の増額を示されるなど、この傾向は、今後、数年間において継続されると予想しています。

組合としても、間伐・枝打ちといった、いわゆる保育関連事業を推進することはもちろんですが、新規の造林にも積極的に取り組んでいく必要性を感じており、平成

19年度においては、20ha以上の造林を実施するなど、歪になつていく林齢構成を少しでも緩和し、持続的な林業を目指したいという考えからの行動をはじめとしています。

また保安林指定についても、有利な補助率が適用され、施業導入に際しての所有者負担を少しでも減らせることから、対象林地を探し、所有者の承諾がいただけることから進めていきたいと考えています。

そのためには林業労働力の確保も重要な課題であり、緑の担い手育成対策事業などを活用し、知識と技能を持った若年労働力の計画的な採用を進めます。



下刈



伐採



枝打

## 建築事業



住む方に喜ばれる住宅づくり

平成15年より開始している建築事業は、年々、着実な成長を遂げ、平成18年度には12,900万円を売り上げるなど森林組合としても中核的な事業として位置付けています。今後、機械化林産事業で搬出された木材の有効な販売先として、さらなる成長が期待できる事業です。

現在、南河内支店内に建築事業の担当部署を置き、主に周辺地域での営業活動を行ってきた結果として、一定の認知は図られてきたものと考え、今後、南河内周辺はもとより大阪市内や北摂方面などへの進出を計画しています。

取り扱う木材についても、「大阪スローウッド」と名づけた葉枯らし材や自然乾燥を施した府内産木材を中心に取り扱いことを計画しています。また、天然素材をふんだんに用いた組合オリジナルモデルプランを立案し、また木材から住宅建築まで一環生産が可能であることをはじめ、森林組合だからこそのサービス提案など、都市住民に向けた様々な情報発信をしていく予定です。

一方で、組合員様による紹介キャンペーンについても、継続した取り組みとして確立させ、さらに周知を進め、組合内部での業務の掘り起こしにも取り組んでいきたいと考えています。

そのためには組合内に建築士や建築施工管理技士、昨今、感心が高まっている耐震診断を行える有資格者を育成するとともに、住宅に関する豊富な知識をもつ営業職を配置するなど多種多様なニーズに対応できる体制を築くことが急務となっております。

流域に大消費地を抱えるという大阪の立地を最大限活用し、住宅という大量の木材利用が可能な商材を扱う建築事業部の発展は、今後の組合運営には不可欠なものとなっております。



府内産木材の普及を目指して



賑わいを見せる見学会

## 指定管理者による事業

平成18年度より開始された指定管理者制度において、当組合では「大阪府立総合青少年野外活動センター」「大阪府宮岡公園」「河内長野市立林業総合センター」「宮ノ下駐車場」の4施設を大阪府、河内長野市より受託し、管理・運営を行っています。

河内長野市立林業総合センターと宮ノ下駐車場以外は、組合としても初めて管理する施設であり、当初は不安や戸惑いも多々ありましたが、担当職員の奮闘や両施設とも森林に関係することから組合がもつノウハウが最大限生かされたこともあり、現在まで、大過なく管理・運営業務を遂行しています。

また、どの施設とも管理・運営に関して、利用者から高い評価をいただき、担当職員の志気も高揚しており、自信を持って業務に当たっています。

指定管理者として協定期間は、枚岡公園と宮ノ下駐車場が3年、その他は5年となっております。平成20年度には、枚岡公園と宮ノ下駐車場における指定管理者募集が行われる予定です。

組合では、この両施設ともにおいて、指定管理者申請したいと考えており、また他公園についても、この2年間の実績を生かし、申請に積極的にエントリーしていきたいと考えています。



大阪府立総合青少年野外活動センター



河内長野市立林業総合センター



大阪府宮岡公園

# 森林観光センターだより

お問い合わせ  
072(688)9400

厳しい冬も去り木々の芽ぶきと、桜・辛夷・山つつじと花の季節を迎えようとしています。当地は四季を通じてすがすがしい自然に恵まれていますが、何といても新緑が眩く「元氣」と「希望」を与えてくれる春が一番です！

毎年恒例の、春の人気メニュー「春膳(お一人様¥3,200)」(3/15〜4/20)が今年もボリュームアップ！

鶏の豆乳なべをメインとして山菜の天ぷらなど、旬の素材をふんだんに盛り込んだ、春を感じていただける自信のメニューと温泉入浴と送迎をセットしたお値打ちメニューです。ぜひ一度、ご賞味下さい。

レギュラーメニューである炭火焼セットや、ご予算に合わせた職人のお任せセットもございます、お気軽にお問い合わせください。



春の人気メニュー「春御膳」

昨年3月31日、高槻市原地区と檜田地区が、「高槻・とかいなか創生特区」に認定され、地区内で栽培された米(酒米・五百萬石)で、「どぶろく」の製造に対しての規制が緩和されました。

それを記念して、どぶろくの蔵元である畑中喜代司さんを招いて、3月8日と20日の両日、森林観光センターにて「どぶろく祭」を開催しました。両日とも酸味の中にほのかな甘みがある「どぶろく」を味わいたい参加者で大盛況でした。

参加者から「次回はいつやるの？」という問合せも多く、次の企画を検討しているところです。また、4月末までは、鍋十どぶろくのセットメニューも好評開催中です。

今回のどぶろく祭など、観光センターの最新の情報やお得な情報満載のホームページもぜひご覧ください。担当者のブログも好評配信中です。  
<http://www.o-forest.org/center.html>

センターの職員一同、みなさまのお越しをお待ちしています。



蔵元の畑中さん



高槻市原地区で醸造されるどぶろく「原いっばい」

高槻市大字田能小字的谷2番地

**■交通のご案内**  
【公共交通機関でのご来場】  
JR高槻駅北口より  
高槻市営バス2番乗場  
系統番号60〜63番  
「檜田方面」行き乗車  
森林センター前下車すぐ

【お車での来場】  
国道171号線「今城町」交差点を北へ  
(府道6号枚方亀岡線) 約30分

がんばっています

## 大阪府内産木材の住まいづくり

0120-630-0054  
<http://www.sinrin.org>

建築事業部では鋭意、府内産木材を用いた住宅営業に取り組み、今年度、新築4棟、リフォーム25件を受注し、お客様に喜ばれる住宅づくりに努めています。

また前回、通信でお知らせいたしました組合員様からの紹介キャンペーンについて、新築1件のご紹介いただき、無事、成約に結びつけることができました。

キャンペーンについては、今後も継続して行う予定ですので、ご親戚やお知り合いで住宅のご計画をお持ちの方がいらっしゃれば、ぜひご紹介ください。

さて、今回はこのように順調に成長を続ける建築事業部を支えるスタッフである、尾ノ上貴浩君をご紹介します。

建築事業部の尾ノ上貴浩と申します。平成18年9月ウッドベースかわちながのより建築事業部に異動してきました。昭和47年生まれの35歳。家族は妻と三人の子供たちです。河内長野の山の一番奥の

ほうの出身です。

現在の仕事は「木の住まい」を住まい手や設計者や職人さんと一緒に造っています。私は、ひい爺さんのもつと前から林業を営む家系に生まれ育ちました。だからやっぱり木と大工や職人達とつくる「木の家」が大好きです。住まい手の皆様にも「やっぱり木はいい」と言っていたいです。



家をつくるということ、さらに地域の木材を有効につかうこと、そして住まい手や組合員の皆様に喜んでいただけること、すべては経験がものをいう分野で、一人前になるのはかなり先のことになると思います。今後とも一生懸命頑張りますので、皆さんよろしくお願ひします。



建築事業部で活躍する尾ノ上君

- 【取得資格一覧】
- 一級建築士
- (大阪府建築士会正会員)
- 登録番号 第50067号
- 二級建築施工管理技士
- 登録番号 B062102552
- 高齢・障害者向け住宅改修研修「養成研修会」受講修了
- 既存木造住宅の耐震診断・改修講習修了
- 受講番号 19274114
- 木材加工用機械作業主任者技能講習修了
- 交付番号5020
- 普通救命講習修了
- 第5001125号
- タカラスタンダード実践的販売セミナー修了

## 耐震診断・耐震改修への取りくみ

大阪府内の各市町村では、住宅の耐震化を促進し、安全な住まいづくりを実現するため、耐震診断・耐震改修に伴う費用に対して補助金や税の優遇が受けられる制度を実施しています。

大阪府森林組合建築事業部でも、先日、組合員の方からの依頼を受け、補助制度を利用した耐震診断を実施致しました。

建築事業部では、今後もこのような住まいの耐震化に、積極的に取り組むため、担当職員が大阪府知事指定「耐震診断・改修講習」を受講し、耐震診断・耐震改修に関する最新の技術を業務に活用しています。

是非この機会に大切な家族を守る住まいの耐震化を進めてください。

尚、補助制度の有無、補助金額、条件、内容は各市町村で異なります。また、予算にも限りがあり、先着順となっている市町村もございますので、お早めに大阪府森林組合建築事業部までお問合せ下さい。

# 国における平成20年度林業関係予算について

国の林野庁関連の平成20年度予算として、3,854億円（昨年比97.7%）の予算案が決定されました。

ポイントとして京都議定書第1約束期間（2008～2012年）における森林吸収目標達成のため、「美しい森づくり」に向けた取り組みに重点が置かれています。

予算の重点事項の中で森林組合に関連するもののうち、「美しい森づくり」に向けた主な事業としては、

- ① 2007年から6年間で330万haの間伐の実施（08年度は07年度補正とあわせ21万ha）と長伐期化、針広混交林化など多様な森づくりの推進。
- ② 花粉発生源対策の推進として、花粉症対策品種の開発、苗木生産量の増大、小花粉スギ林への更新があげられています。

その他、高齢級間伐実施推進のための施業費借入の際の利子補給や損失額の一部補填、また緑の担い手育成対策事業や施業集約化事業も予算措置されています。

一方、大阪府においては橋下新知事が就任され、今後、府の財政再建のため、すべての事業について見直しの作業が行われます。

このため国の予算が措置されても、大阪府での森林整備など補助事業の執行は8月以降になるとともに、府財政の大変厳しい状況の下、組合関係事業にあっても影響は避けられないと考えられます。

# NPO森のプラットフォーム高槻

高槻市と三島支店が共催する「市民林業士養成講座」の修了者の多くが森林ボランティア活動を組織的に行うことができるように、NPO法人森のプラットフォーム高槻（通称・森プラ）が平成17年1月に設立されました。

森プラは、地域の森林・里山を保全育成することを目的とし、所有者から依頼のあった山林整備作業を主体に行っています。会員は老若男女の81名で、重量物の運搬ではボディビル経験者が担当し、電気設備技術者が機械を修繕するなど、それぞれのキャリアや特技を生かし、参加・活躍されています。



木材を有効利用する

森プラのこだわりの一つは、伐った木の有効活用。森プラでは木材需要の拡大が森林や林業に果たす役割が大きいことを踏まえ、森林所有者の承諾のもと、間伐材はできるだけ搬出して、木杭やベンチなどを製作・販売し、また木材利用の利点をアピールすることにも力を注いでいます。また街中の子ども達に森林や木に親しむ機会を提供し、クラ



キャリアを生かして森林整備

フト指導などを通して木のよさや物づくりの楽しさを体験させることが、次世代に森林や林業の一端を教育する意義深いものとの考えから、今年度より森林観光センター内にある木工クラフトセンターの運営・管理を行っていただいています。森プラの活動は森林整備・木材利用ともに量的に大きな実績はありません。しかし森プラの活動意義を広めることが森林・林業への理解者を増やすことにつながるから森林組合でも、活動をサポートしていく予定です。

## 中谷前組合長が旭日小綬章を受章

中谷前組合長は、四十有余年間の永きにわたり森林・林業に携わられ、地域林業の振興、大阪の貴重な緑の保全に努めてこられました。この間、河内長野市森林組合

「河内長野の豊かな森林づくり基金」に300万円の寄附をされました。今後とも組合理事として、その経験と実績を生かして、森林・林業の振興と後進の育成にお力添えをいただきたいと思います。

受章後、今までお世話になったお礼と府内の森林・林業振興のため、大阪府の「緑の募金」と



旭日小綬章を受賞した中谷前組合長

## 木材市況

国産材の原木価格は、全般的に「横ばい」で推移しています。ヒノキ材については構造材の需要の減退から昨年後半に価格が下落したものの、現在は下げ止まり低値で推移しています。

スギ材は、特に節有材について針葉樹合板への大口需要が買い支えをしている状況です。

2月22日、木材共販所で開催した原木市では、スギ・ヒノキ・ケヤキなど大径木を集荷することができ、広範囲な地域より多くの買い方様にご参集いただきました。

落札価格もスギ材で250,000円/m<sup>3</sup>、ヒノキ材で300,000円/m<sup>3</sup>、ケヤキで430,000円/m<sup>3</sup>と高値で落札されるなど、盛況のうちに終了いたしました。

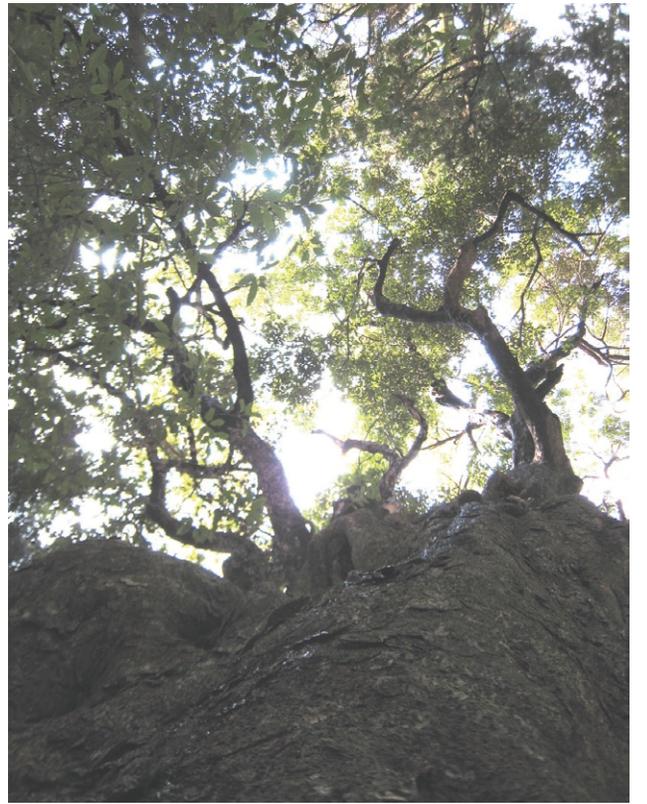
今後も買い方様にご参集いただける方策を打ち出し、木材市の盛況に努めたいと考えております。

■平成19年12月から平成20年2月期

樹種	出材量(m <sup>3</sup> )	平均単価(円)
スギ	348.786	24,013
ヒノキ	762.220	37,186
マツ	4.534	12,115
広葉樹	98.497	95,086

# 巨木探訪 天王のアカガシ

大阪の北端、能勢町を貫き兵庫  
県篠山市に抜ける国道173号  
線、天王トンネル入口横から小道  
を登って、ほどなくのこ  
ころに「天王のアカガシ」  
がそびえ立っています。  
高さ約22m、幹周り5.2  
mのこの巨木は、もとも  
と天王村社が祭祀されて  
いたところで、神域の樹  
木として崇められていま  
した。

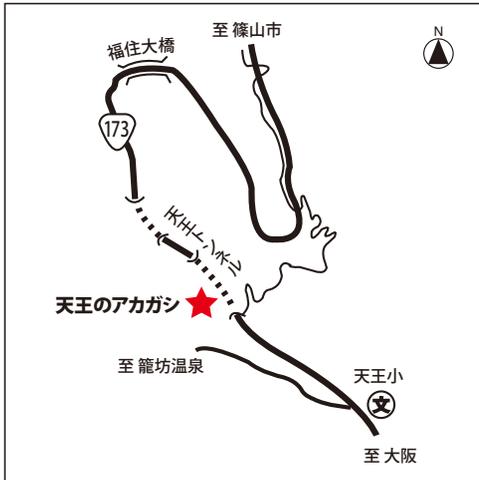


推定樹齢 500年のアカガシ

心材が紅褐色していることが名  
前の由来であり、堅材で加工が困  
難である反面、弾性があり狂いに  
くいとされており、古墳時代の  
遺跡から出土した運搬具がアカガ  
シであったとされています。現在  
では最高級の木刀やゲートボール  
のスティックなどに利用されてい  
ます。

「天王のアカガシ」は昭和58年  
に大阪府の天然記念物に指定、現  
在でも周辺はきれいに整備されて  
おり、今でも大切に保存されてい  
ることがうかがわれます。

## 天王のアカガシ周辺図



## 日々活躍 組合職員紹介

今回はアクションプラン推進室葛城修平さんをご紹介します。

葛城さんは平成9年5月に旧南河内森林組合に採用されて以来、地域森林の  
保育・整備に努めてこられました。

ご自身も組合採用前から林家として、長く林業に携わってこられたという経  
歴の持ち主で、森林に関する知識は組合の中でもトップクラス。

合併時に、新たに設置された泉州支店の支店長に抜擢され、以後、森林整備  
はもちろんのこと漁協と連携しての間伐材漁礁の製作や和泉ファーマーズ「葉  
菜の森」開設にも力を注がれました。

昨年より、新たに設置した部署「アクションプラン推進室」の室長に就任。  
主に、南河内地域における機械化林産を統括しながら、泉州支店長も兼務する  
という多忙な日々を過ごされています。

休日には、かなりの頻度で海に向かって釣り糸を垂れる、知る人ぞ知る釣り  
人。釣りの雑誌にも定期連載を持つほどの腕前です。

木材生産部門という組合の根幹事業  
の責任者という重責を担われますが、泉  
州支店を6年以上にわたって切り盛り  
してきた手腕を発揮し、府内産木材の流  
通活性化に大きな役割を果たしてもら  
えるものと期待しています。



葛城修平さん

## 公告

当組合総代員の任期が本年4月末で満了します。  
つきましては下記のとおり、総代選挙を実施  
いたしますので、お知らせします。

### 総代選挙について

組合員各位  
平成20年4月15日  
大阪府森林組合  
代表理事組合長 氏原 修

大阪府森林組合総代選挙規程に基づき総代選挙の実施を  
公告します。

#### 1. 投票日時

平成20年4月25日 午前9時より午後5時まで

#### 2. 投票所及び各選挙区の選挙する総代数

(下表をご参照ください)

なお選挙区ごとに立候補または推薦者が定数内の場合、投  
票は実施しません。

また投票を行う場合は、別途お知らせいたします。

#### 3. 立候補・推薦の締め切り

平成20年4月21日 午後5時まで

詳しくは各支店までお問い合わせください

選挙区及び投票所		
	投票所	総代数
豊能地区	豊能支店	67人
三島地区	三島支店	56人
南河内地区	南河内支店	72人
泉州地区	泉州支店	55人
計		250人

## 2008 丸大の夏ギフト

～おかげさまで50周年～

ご贈答には、丸大のハム・ソーセージの詰め合わせをどうぞ。

お問い合わせ先 丸大食品(株)関西特販営業課  
大阪市西成区津守2-1-10 TEL06-6657-0071

おいしさ新鮮

丸大食品